



熊谷雄一市長（右から3人目）に最優秀賞受賞を報告した森竜馬主将（同4人目）ら八学大ラグビー部のメンバー

大学スポ協 ユニバス・アワーズ表彰 八学大ラグビー部 最優秀賞

キャリア形成取り組み評価

大学スポーツ協会（東京）が大学スポーツの盛り上げなどに成果を上げた人や団体に贈る「UNIVAS AWAARDS（ユニバス・アワーズ）」で、八戸学院大ラグビー部のキャリア形成などに関する取り組みが、マイナビ賞「人材育成支援に関する優秀取組賞」の最優秀賞を受賞した。部内で取り組んだ人間力を高める「デュアルキャリア支援セミナー」が高く評価された。

22日は同部の山下祐史ヘッドコーチ（HC）や部員が八戸市庁を訪ね、熊谷雄一市長に受賞を報告した。男子の森竜馬主将は「全員がチームのことを深く考えるきっかけになった」と手応えを感じた様子。女子の鈴木光莉さんは「競技に関してだけでなく、今後の人生に生かされる経験になった」と話した。

山下HCは「主体性を持って行動する部員が増えており、学生が変わるきっかけになった」と語った。（福田駿）

同部は本年度、総合人材サイブス大手のマイナビ（東京）から講師を招き、課題発見力

や感情のセルフコントロールなどをテーマにしたセミナーを計6回実施。競技力やチーム力の向上に加え、部員が社会で活躍するための基礎を学んだ。

育成支援の取り組みを表彰している。

同部は本年度、総合人材サイブス大手のマイナビ（東京）から講師を招き、課題発見力